

付録

ユーザー補助

ユーザー補助について

ユーザー補助機能により、視覚、聴覚、運動機能に障害がある方でも本機をお使いいただけます。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」をタップします。

ホームキーを使用してユーザー補助を開く

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「ダイレクトアクセス」をタップしてからスイッチをタップして有効化します。そしてホームキーを3回すばやく押したときに開くユーザー補助メニューを選択します。

以下のユーザー補助メニューを使用できます。

- ・ ユーザー補助
- ・ Voice Assistant
- ・ ユニバーサルスイッチ
- ・ ルーペウィンドウ
- ・ ネガポジ反転
- ・ グレースケール
- ・ 色の調整
- ・ 入力操作制御

Voice Assistant

Voice Assistantを有効化・無効化する

Voice Assistantを有効化しておく、画面上の文字や機能を1回タップしたときにそれが音声で読み上げられます。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「視覚」→「Voice Assistant」をタップしてからスイッチをタップして有効化します。音声フィードバック機能が開始します。

Voice Assistantを無効化するには、スイッチをタップしてから画面の任意の場所をすばやく2回タップします。

Voice Assistantを最初に有効化したときはチュートリアルが開始します。チュートリアルをもう一度見たいときは「Voice Assistantヘルプ」をタップします。



Voice Assistantからは使用できない機能もあります。

指ジェスチャーで画面をコントロールする

Voice Assistantを使用しているときにさまざまな指ジェスチャーで画面をコントロールすることができます。

指1本のジェスチャー

- ・ タップ: 指で示したアイテムが音声で読み上げられます。指を画面上に置いて移動することにより画面の内容を確認します。
- ・ ダブルタップ: 選択したアイテムが開きます。選択アイテムが読み上げられていく中で目的のアイテムが読み上げられたときにそのアイテムから指を離します。そして画面の任意の場所をすばやく2回タップします。
- ・ ダブルタップしてロングタッチ: アイテムを移動またはオプションを選択します。
- ・ 左にスワイプ: 前のアイテムに移動します。
- ・ 右にスワイプ: 次のアイテムに移動します。
- ・ 上または下にスワイプ: 直近に使用したコンテキストメニューを使用、またはその設定を変更します。テキスト選択モードでは、カーソルを前後に動かしてテキストを選択します。

- ・ 1つの動作で左にスワイプして次に右にスワイプ:画面を上スクロールします。
- ・ 1つの動作で右にスワイプして次に左にスワイプ:画面を下スクロールします。
- ・ 1つの動作で上にスワイプして次に下にスワイプ:画面上の最初のアイテムに移動します。
- ・ 1つの動作で下にスワイプして次に上にスワイプ:画面上の最後のアイテムに移動します。

指2本のジェスチャー

- ・ タップ:音声フィードバックの再生を中断または再開します。
- ・ ダブルタップ:再生を開始、中断、または再開します。
- ・ 3回タップ:現在の時刻、バッテリー残量、およびモードを確認します。音声で読み上げるアイテムを変更するには、アプリ画面を開いて「設定」→「ユーザー補助」→「視覚」→「Voice Assistant」→「設定」→「ステータスバーの情報」をタップします。
- ・ ダブルタップしてロングタッチ:文字選択モードを有効化または無効化します。
- ・ 左にスワイプ:次のページに移動します。文字選択モードでは選択された文字を切り取ります。
- ・ 右にスワイプ:前のページに戻ります。文字選択モードではコピーされた文字を貼り付けます。
- ・ 上にスワイプ:リストを下スクロールします。文字選択モードでは選択されている文字をコピーします。
- ・ 下にスワイプ:リストを上スクロールします。文字選択モードではすべての文字を選択します。
- ・ 画面のロック中に任意の方向にスワイプ:画面のロックを解除します。
- ・ 画面の上部から下にスワイプ:通知パネルを開きます。

指3本のジェスチャー

- ・ タップ:最初のアイテムから順に読み上げます。
- ・ ダブルタップ:次のアイテムから順に読み上げます。
- ・ 3回タップ:直近に選択した文字を読み上げてクリップボードにコピーします。
- ・ 右または左にスワイプ:コンテキストメニューを開いてその中のオプションを順に読み上げます。
- ・ 上または下にスワイプ:文字の読み上げと選択の際の区切りの細かさを変更します。

コンテキストメニューを使用する

Voice Assistantを使用しているときに、3本の指で右または左にスワイプします。コンテキストメニューが表示され、その中のオプションが音声で読み上げられます。3本の指で右または左にスワイプしてオプション間を移動できます。目的のオプションが聞こえたときに、上または下にスワイプすると、オプションの使用または設定ができます。たとえば「端末の音量」が聞こえたときに上または下にスワイプすると、音量を調節できます。

画像ラベルを追加する





画面上の画像にラベルを指定することができます。画像が選択されたときにそのラベルが音声で読み上げられます。画面上を3本の指でダブルタップしてロングタッチすることによりラベルが付けられていない画像にラベルを付けることができます。

Voice Assistantの設定を行う

Voice Assistantを使いやすいように設定します。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「視覚」→「Voice Assistant」→「設定」をタップします。

- ・ **読み上げの音量**: 音声フィードバックの音量を調節します。
- ・ **読み上げの速度**: 音声フィードバックの速度を設定します。
- ・ **トーンを変更**: キーボードで入力された文字を低音で読み上げるように設定します。
- ・ **キーボードフィードバック**: スペースキーをタップしたときにキーボードで入力した単語を音声で読み上げるように設定します。
- ・ **画面OFF時の音声入力**: 画面がOFFのときに音声フィードバックが動作するように設定します。
- ・ **近接センサーを使用**: 本機上部のセンサーに手のひらを置いたときに音声フィードバックが動作を中断するように設定します。
- ・ **端末を振って読み上げ続行**: 本機を振ったときに画面上の文字を音声で読み上げるように設定します。本機を振る速度をさまざまに設定できます。

- ・ **音標文字を読み上げ**: キーボードを長押しした時、対応する音標を読み上げるよう設定します。
- ・ **使用方法のヒントを読み上げ**: スワイプしてアイテムにフォーカスを合わせたとき、ヒントを読み上げるよう設定します。
- ・ **バイブフィードバック**: 画面間を移動したときに本機が振動するように設定します。
- ・ **サウンドフィードバック**: スクロールなどの画面操作の際に発するサウンドを設定します。
- ・ **音声フォーカス**: アイテムを音声で読み上げるときにメディアの音量を下げるように設定します。
- ・ **サウンドフィードバックの音量**: 画面にタッチして操作するときのサウンドの音量を調節します。この機能は「音で知らせる」が有効化されているときに使用できます。
- ・ **ラージカーソル**: アイテムをタップしたときに、四角形のカーソルの境界線を太く表示するように設定します。
- ・ **戻るキーおよび履歴キーのフィードバック**:  または  を1回タップすると音声フィードバックが動作するように設定します。 または  を2回タップするとそれらが実行されます。
- ・ **クイックメニュー**: 3本の指で左右にスワイプしたときに、クイックメニューに表示する機能と設定を選択します。
- ・ **カスタマイズラベルを管理**: Voice Assistantが有効なときにアイコン、ボタン、またはタブをタップしてカスタマイズラベルを作成し、画面の任の場所を3本の指でダブルタップして長押しすると、ラベルを表示するように設定します。
- ・ **ステータスバーの情報**: 画面を2本の指で3回タップしたときに音声で読み上げるアイテムを選択します。
- ・ **開発者向けオプション**: アプリ開発のためのオプションを設定します。

画面がOFFのときに本機を使用する

画面を常にOFFにして画面の内容を隠すように設定できます。ホームキーを押したり画面をタップしたりしても画面はONになりません。画面がOFFでも実行中の機能は動作を継続します。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「視覚」をタップしてから「画面の情報を保護」スイッチをタップして有効化します。電源ボタンを2回押すことによりこの機能を有効化または無効化できます。

パスワードを音声で読み上げる

Voice Assistantが有効化されているときに入力したパスワードが音声で読み上げられるように設定します。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「視覚」をタップしてから「パスワードの音声出力」スイッチをタップして有効化します。

テキスト読み上げ機能の設定を行う

Voice Assistantが有効の場合、音声読み上げ機能の言語や速度などを設定します。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「視覚」→「テキスト読み上げ」をタップしてから次の機能を使用します。

- ・ **優先TTSエンジン**: 音声読み上げ機能のエンジンを選択します。
- ・ **音声の速度**: 音声読み上げ機能の読み上げスピードを調節します。
- ・ **標準言語のステータス**: 音声読み上げ機能の現在の言語を表示します。

キーボードを利用して文字を入力する

キーボードを表示するには、テキストフィールドをタップしてから画面の任意の場所をすばやくダブルタップします。

キーボードに指を置くと、指の下にある文字が音声で読み上げられます。目的の文字が読み上げられたときに画面から指を離すとその文字が選択されます。その文字が入力され、読み上げられます。

「高速キー入力」が有効化されていない場合は、目的の文字から指を離して画面の任意の位置をダブルタップします。高速キー入力機能を有効化するには、アプリ画面を開いて「設定」→「ユーザー補助」→「視覚」をタップしてから「高速キー入力」スイッチをタップします。

さらに文字を入力する

キーボードのボタンをロングタッチします。ボタンで追加の文字が入力可能な場合、追加できる文字のポップアップウィンドウが表示されます。文字を選択するには、入力しようとする文字が聞こえるまで画面で指をドラッグして、指を離します。



視覚

ボイスラベル

形が似ているオブジェクトにボイスラベルを付けてそれらを区別することができます。音声を録音してNFCと連携したボイスラベルに割り当てることができます。ラベルの近くに本機を置くと音声再生されます。



この機能を使用する前にNFC機能を有効化してください。

- 1 アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「視覚」→「ボイスラベル」をタップする音声レコーダーが起動されます。
- 2  をタップして録音を開始する。マイクに向かって話します
- 3 録音が完了したら  をタップして録音を終了する
- 4 ボイスラベルの上に本機の背面をかざす
録音された内容がボイスラベルに書き込まれます。

文字サイズを変更する

画面に表示される文字サイズを変更します。「最大」の文字サイズを使用できないアプリもあります。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「視覚」→「文字サイズ」をタップします。

高コントラストフォント

背景とのコントラストを高めるため、フォントの色および輪郭を調整します。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「視覚」をタップし、「高コントラストキーボード」のスイッチをタップして有効化します。

高コントラストキーボードを使用する

Galaxy日本語キーボードのサイズを大きくし、キーの色を変更して文字と背景のコントラストを強くします。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「視覚」をタップし、「高コントラストキーボード」スイッチをタップして有効化します。

ボタンを強調して表示する

ボタンの形を影を付けて表示し、ボタンの形が目立つようにします。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「視覚」をタップし、「ボタンを強調して表示」スイッチをタップして有効化します。

拡大鏡を使用する

画面上で拡大鏡を使用して表示を拡大することができます。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「視覚」→「ルーペウィンドウ」をタップしてからスイッチをタップして有効化します。画面上に拡大鏡が表示されます。

画面上の拡大表示させたい箇所に拡大鏡をドラッグします。

画面の拡大

画面を拡大したり、特定部分を拡大したりできます。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「視覚」→「拡大ジェスチャー」をタップしてからスイッチをタップして有効化します。

- ・ 拡大／縮小:画面上をすばやく3回タップすると特定の箇所を拡大します。もう1度画面上をすばやく3回タップすると通常の見え方に戻ります。
- ・ スクロールして画面を探索する:2本以上の指で拡大表示中の画面上をドラッグします。
- ・ 拡大レベルの調整:拡大表示中の画面の上で2本以上の指でつまむ、または指を広げます。

画面上を3回タップしてロングタッチすることにより一時的に拡大表示にすることができます。画面上を指で押したままでドラッグすると画面各所を閲覧できます。指を離すと通常が表示に戻ります。



- ・ 画面上のキーボードを拡大表示することはできません。
- ・ この機能が有効化されているときは、電話やカレンダーなどの一部のアプリの性能が低下する場合があります。

画面をグレースケールモードに変換する

画面上の色をグレートーンで表示します。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「視覚」をタップしてから「グレースケール」スイッチをタップして有効化します。

表示色を反転させる

画面上の文字を見やすくします。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「視覚」をタップしてから「ネガポジ反転」スイッチをタップして有効化します。

色の調整

色の区別が困難なお客様のために画面上の色の表示方法を調整します。画面上の色が識別しやすい色に変換されます。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「視覚」→「色の調整」をタップしてからスイッチをタップして有効化します。画面の指示に従って色の調整を行います。

聴覚

音を検出して通知

ドアチャイムが鳴ったときや赤ちゃんが泣いたときにそれを検出して本機が振動するように設定します。

赤ちゃんの泣き声検出

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「聴覚」→「音を検出して通知」をタップしてから「赤ちゃんの泣き声検出」スイッチをタップして有効化します。音を検出したときに本機が振動し、警告がログに保存されます。

ドアチャイム検出

- 1 アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「聴覚」→「音を検出して通知」をタップしてから「ドアチャイム検出」スイッチをタップして有効化する
- 2 ●をタップしてドアチャイムを録音する
本機はドアチャイムを検出して録音します。
- 3 ●をタップしてドアチャイムを鳴らし正しく録音されたかどうか確認する。本機がドアチャイムの音を検出したら「OK」をタップします。
呼び鈴音を変更するときは「ドアチャイム音を変更」をタップします。
音を検出したときに本機が振動し、警告がログに保存されます。

フラッシュ通知を設定する

電話、新着メッセージ、または通知を受信したときにフラッシュするように設定します。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「聴覚」をタップしてから「フラッシュ通知」スイッチをタップして有効化します。

全ての音をOFFにする

通話中にメディアの音や電話の発信者の声などのすべての音をミュートするように設定します。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「聴覚」をタップしてから「全ての音をOFF」スイッチをタップして有効化します。

字幕設定

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「聴覚」→「Galaxy字幕 (CC)」または「Google字幕 (CC)」をタップしてからスイッチをタップして有効化します。字幕設定のオプションを設定します。

サウンドバランスを調節する

ヘッドセットを使用したときのサウンドバランスを調節します。

- 1 ヘッドセットを本機に接続してから着装する
- 2 アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「聴覚」→「左右のサウンドバランス」をタップする
- 3 調節バーを右または左にドラッグしてサウンドバランスを調節してから「設定」をタップする

モノラル再生

モノラル再生時はステレオサウンドが1つの信号に合成されてヘッドセットのスピーカーで再生されます。聴覚障害がある方、または片耳で聞きたい場合にこの機能を使用してください。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「聴覚」をタップしてから「モノラル再生」スイッチをタップして有効化します。

操作と制御

ユニバーサルスイッチ

ディスプレイ上の操作を外部スイッチの接続、画面のタップ、または頭や顔の動作により行うことができます。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「操作と制御」→「ユニバーサルスイッチ」をタップしてからスイッチをタップして有効化します。本機にユニバーサルスイッチが登録されていない場合は「スイッチを追加」をタップして本機を操作するためのスイッチを設定してください。



ユニバーサルスイッチを有効化するためには少なくとも1つのスイッチが本機に登録されている必要があります。

本機を操作するためのスイッチを設定するには「設定」→「スイッチ」をタップします。ホームキーを3回押すだけでこの機能は無効化されます。

アシスタントメニュー

ユーザー補助ショートカットアイコンを表示する

アプリ、機能、設定へのユーザー補助ショートカットアイコンを表示するように設定します。アイコン内のアシストメニューをタップすることにより本機を簡単にコントロールすることができます。

- 1 アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「操作と制御」→「アシスタントメニュー」をタップする
- 2 スイッチをタップして有効化する
画面右下にユーザー補助ショートカットアイコンが表示されます。
- 3 ユーザー補助ショートカットアイコンをドラッグして使いやすい位置に移動する

アシスタントメニューにアクセスする

ユーザー補助ショートカットアイコンは好みの位置に配置でき、どの画面からでもアシスタントメニューをすばやく表示できます。

ユーザー補助ショートカットアイコンをタップすると、アイコンが少し広がってアシスタントメニューが表示されます。上下の矢印をタップして他のパネルに移動したり、上下にスワイプして他のメニューを選択したりします。

カーソルを使用する

アシスタントメニューで「カーソル」をタップします。タッチエリアで指を少し動かすだけで画面をコントロールできます。タッチエリアで指をドラッグするとカーソルが動きます。また、画面をタップするとカーソルの箇所のアイテムが選択されます。

次のオプションが使用できます。

- ‹›/››: アイテムを選択する、または画面を左右にスクロールする
- ‹/›: 画面を上下にスクロールする
- ⊕: カーソル付近の領域を拡大する
- ⇄: タッチエリアを移動する
- ✕: タッチエリアを閉じる

カーソルの設定を変更するには、アプリ画面を開いて「設定」→「ユーザー補助」→「操作と制御」→「アシスタントメニュー」をタップします。次に「タッチパッド/カーソル設定」に表示される設定をカスタマイズします。

拡張補助メニューを使用する

選択したアプリに対して拡張補助メニューが表示されるように設定します。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「操作と制御」→「アシスタントメニュー」→「補助機能強化」をタップしてからスイッチをタップして有効化し、アプリを選択します。

エアジェスチャー機能により画面をONにする

エアジェスチャー機能を使用して、本機上部のセンサーの上で手を動かすことにより画面をONにします。キーを押さなくても画面をONにできます。この機能を使用するときは、本機の画面を上向きにして平らな所に置くか、本機が動かないように手でしっかり持つてください。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「操作と制御」→「かんたんに画面をON」をタップしてからスイッチをタップして有効化します。

ロングタッチの調整オプションを設定する

ロングタッチを認識するまでの時間を設定します。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「操作と制御」→「長押しの調整」をタップしてからオプションを選択します。

入力操作制御

入力操作制御モードを有効にすると、使用中のアプリの入力に対する反応を制限できます。



本機能は、Easy mute、Smart alert、Direct callではご利用になれません。

- 1 アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「操作と制御」→「入力操作制御」をタップする
- 2 スイッチをタップして有効化する
- 3 アプリの使用中にホームキーと音量キーを同時に長押しする
- 4 枠の大きさを調整するか制限したい領域の周りに線を引く
- 5 「完了」をタップする

制限された領域が表示されます。制限された領域をタッチしても何も起こりません。また本機のハードキーは無効化されます。

入力操作制御モードを解除するには、ホームキーと音量キーを同時に長押しします。

スワイプコンビネーションロック

方向の組み合わせにより画面のロックを解除できるようにします。

- 1 アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「スワイプコンビネーションロック」をタップしてからスイッチをタップして有効化する
- 2 上、下、左、または右方向のドラッグを4～8回行い、「続行」をタップする
- 3 同じ方向の組み合わせでもう1回ドラッグを繰り返してから「確認」をタップする
- 4 組み合わせを忘れたときのためにバックアップPINを設定する

通知リマインダー

定期的に未読通知を知らせます。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「通知リマインダー」をタップしてからスイッチをタップして有効化します。

通知をチェックしていない場合に本機が振動するようにするには「バイブ」スイッチをタップして有効化します。

通知の間隔を設定するには「通知の間隔」をタップします。

アプリから通知リマインダーを出すようにするには「通知を表示するアプリ」からアプリを選択します。

電話に応答するまたは電話を終了する

電話に応答する方法と電話を終了する方法を変更できます。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「通話応答/終了」をタップします。使用したい方法を選択します。

シングルタップモードを使用する

アラームが鳴ったときまたは電話が着信したときに、ボタンをドラッグする代わりにボタンをタップしてアラームを止める、または電話に応答します。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「シングルタップモード」スイッチをタップして有効化します。

ユーザー補助設定を管理する

ユーザー補助設定をファイルに保存する

現在のユーザー補助設定をファイルにエクスポートできます。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「ユーザー補助を管理」→「インポート/エクスポート」→「マイファイルにエクスポート」をタップします。

ユーザー補助設定ファイルをインポートする

ユーザー補助設定ファイルをインポートして設定をアップデートできます。

アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「ユーザー補助を管理」→「インポート/エクスポート」→「マイファイルからインポート」をタップします。インポートするファイルを指定してから「完了」をタップします。インポートしたファイルによりユーザー補助設定がアップデートされます。

ユーザー補助設定ファイルを共有する

Eメール、Wi-Fi Direct、Bluetoothなどを経由してユーザー補助設定ファイルを共有できます。アプリ画面で「設定」→「ユーザー補助」→「ユーザー補助を管理」→「共有」をタップします。

ユーザー補助設定ファイルを選択してから「完了」をタップします。共有する方法を選択して、画面の指示に従ってファイルを共有します。

トラブルシューティング

ソフトバンクカスタマーサポートにお問い合わせになる前にお読みください。なお、一部本機には適用されない内容がございます。気になる症状の内容を確認しても症状が改善されない場合は、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先までご連絡ください。

本機の電源を入れたときや使用中に以下の入力を求められた場合

- ・ パスワード:本機をロックする機能が有効なときは、本機に設定したパスワードを入力する必要があります。
- ・ PINコード:本機を初めてご使用になるときやPIN認証を有効にしているときは、USIMカードとともに提供されるPINコードを入力する必要があります。「SIMカードロック」メニューからこの機能を無効化することができます。
- ・ PUKコード:PINコードの入力を複数回間違えると、USIMカードがロックされます。この場合にご契約時に提供されるPUKコードを入力する必要があります。
- ・ PIN2コード:PIN2コードの入力が必要なメニューにアクセスしたときに入力が必要になります。PIN2コードはUSIMカードとともに提供されます。

ネットワークエラーまたはサービスエラーが表示される

- ・ 電波が弱い場所や受信状態が悪い場所にいると、受信できなくなることがあります。場所を移動してから接続し直してください。移動中は、繰り返しエラーメッセージが表示されることがあります。
- ・ お申し込みされていないためにご利用できないことがあります。

本機の電源が入らない

バッテリー残量がないときは電源が入りません。バッテリーを十分に充電してから電源を入れてください。

ディスプレイの反応が遅い、または誤動作する

- ディスプレイに保護カバーやアクセサリなどを付ける場合、ディスプレイが正しく機能しない場合があります。
- 手袋を着用していたり、ディスプレイをタップするときに手が汚れていたり、尖ったものや指先で操作したりした場合に、誤動作することがあります。
- ディスプレイは、水がかかったときや多湿な環境では誤動作する場合があります。
- 予期せぬソフトウェアバグなどをクリアするため、再起動してください。
- 本機のソフトウェアが最新バージョンかを確認してください。
- ディスプレイにきれつや破損がある場合は、ソフトバンクカスタマーサポートにお問い合わせください。

本機が停止する、重大エラーがある

以下のいくつかの方法を試していただき、いずれも解決しない場合は、ソフトバンクカスタマーサポートにお問い合わせください。

本機を再起動する

本機が停止した場合、アプリを閉じるか本機の電源を入れなおしてください。

本機を強制再起動する

本機が停止して動作しない場合、電源／画面ロックキーと音量キーを同時に7秒以上押し続け、再起動してください。

本機をリセットする

上記の方法で問題が解決しない場合は、工場出荷時の状態に初期化してください。

アプリ画面で「設定」→「バックアップとリセット」→「工場出荷状態に初期化」→「端末リセット」→「全て削除」をタップしてください。工場出荷時の状態に初期化する前に重要データをバックアップしてください。

通話ができない

- ・ 適切な通信ネットワークにアクセスしているか確認してください。
- ・ かけた電話番号が発信制限されていないか確認してください。
- ・ かかってくる電話番号が着信制限されていないか確認してください。

通話中、相手に声が聞こえない

- ・ 内蔵マイクをふさいでいないか確認してください。
- ・ マイクに口を近づけてください。
- ・ ヘッドセットを利用している場合、適切に接続されていることを確認してください。

通話中に音がこだまする

音量キーで音量を調節するか、他の場所に移動してください。

オーディオ音質が低い。また通信ネットワークやインターネットが頻繁に切断される

- ・ 内部アンテナをふさがないようにしてください。
- ・ 電波が弱い場所や受信状態が悪い場所にいると、受信できなくなることがあります。またサービス提供者の基地局の問題により接続問題が発生する場合があります。場所を移動してから接続し直してください。
- ・ 移動中での使用はサービス提供者のネットワークの問題により無線ネットワークサービスが利用できない場合があります。

バッテリーアイコンが空の表示になる

バッテリー残量が残りわずかです。充電してください。

バッテリーがきちんと充電できない(当社指定のACアダプタ)

- ・ ACアダプタが正しく接続されていることを確認してください。
- ・ ソフトバンクカスタマーサポートにお問い合わせください。

購入時よりバッテリーの使用時間が短い

- ・ 本機を極端な高温、低温の場所に置くと充電量が減る場合があります。
- ・ ゲームやインターネットなどのアプリを利用すると、バッテリーの消費量が増えます。
- ・ バッテリーは消耗品です。お使いになるほど、使用時間は短くなります。

本機が熱くなっている

電源消費が多いアプリを使用したりアプリを長時間使用したりすると、本機が熱くなる場合があります。本機の寿命や動作には影響ありませんのでそのままご使用ください。

もし、本機が熱くなる時間が長く、また、いったん使用を停止しても温度が変わらない場合は、ソフトバンクカスタマーサポートにお問い合わせください。

カメラを起動するとエラーメッセージが表示される

カメラを使用するには十分なメモリーとバッテリー残量が必要です。カメラ起動時にエラーメッセージが表示されたら、次の操作をします。

- ・ 充電してください。
- ・ パソコンにファイルを転送したり、本機からファイルを削除したりすることで、メモリーの容量を増やしてください。
- ・ 本機を再起動してください。

これらの対応をしても問題が解決しない場合は、ソフトバンクカスタマーサポートにお問い合わせください。

プレビューより静止画の画質が低い

- ・ 周辺環境や撮影技術によっては静止画の画質は異なります。
- ・ 暗い場所や、夜、または室内で撮影した場合、画像ノイズや画像フォーカスのずれが生じる場合があります。

マルチメディアファイルを開くとエラーメッセージが表示される

エラーメッセージが表示される、またはマルチメディアファイルが再生できない場合は、次の操作をします。

- ・ パソコンにファイルを転送したり、本機からファイルを削除したりすることで、メモリーの容量を増やしてください。
- ・ デジタル著作権管理 (DRM) 保護の音楽ファイルでないことを確認してください。DRM 保護のファイルの場合、ファイル再生のための適切なライセンスやキーを持つようにしてください。
- ・ ファイルフォーマットが本機で対応しているか確認してください。DivX や AC3 など対応しないファイルフォーマットの場合は、対応するアプリをインストールしてください。対応するファイルフォーマットは、<http://www.samsung.com/jp/product/galaxys6edge/> で確認できます。
- ・ 本機はキャプチャした画像や動画をサポートします。他の機器でキャプチャした画像や動画は正しく動作しない場合があります。
- ・ 本機はネットワークサービス提供者やその他のサービスのプロバイダーから公認されたマルチメディアファイルをサポートします。インターネット上で流通している着信音、動画、壁紙などのコンテンツは正しく動作しない場合があります。

他のBluetooth機器が見つからない

- ・ Bluetooth機能が有効になっていることを確認してください。
- ・ 接続する機器でBluetooth機能が有効になっていることを確認してください。
- ・ 本機と他のBluetooth機器とは、最大見通し距離 (10m) 以内で接続するようにしてください。

上記の方法で解決できない場合は、ソフトバンクカスタマーサポートにお問い合わせください。

本機をパソコンに接続できない

- ・ 接続するUSBケーブルが本機に対応していることを確認してください。
- ・ パソコンに適切なドライバーがインストールされアップデートされていることを確認してください。
- ・ Windows XPを利用している場合、Service Packのバージョンが3以降であることを確認してください。

本機の現在位置が認識されない

室内などの場所ではGPS信号が妨害される場合があります。このような場合、Wi-Fiやモバイルネットワークを設定して現在の位置を追跡してください。

本機に保存されたデータの損失について

本機に保存された大切な情報はすべて常にバックアップコピーを取ってください。データの破損や損失があった場合、データを復元できなくなります。データの損失に関して当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

外装に隙間ができています

- ・ この隙間は、製造特性上必要なものであり、部品の小さな揺動や振動が生じることがあります。
- ・ 時間の経過にともなう部品の摩擦により、この隙間が若干広がる可能性があります。